常磐毎日新聞

三月二日　夕刊

日刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
平市長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社　（振替口座）東京　四〇二一〇番

天氣豫報

今晩は北西の風曇

明日は北東の風曇

豫算市會開く
警防團の定員其他
委員十三名に附託
俎上に乘る四十四萬圓

既報＝平市會は本二日午前十時半より開會、出席議員廿五名、劈頭日程を變更して諮問案即ち

一、警防團令に基き貴市に設置せらるべき警防團の定員に關し其の會の意見を諮ふ

一、警防團令に依り其の市に設置せらるべき警防團員の諸手當其の他の給與を別紙の如く定めんとす、仍て其の意見を諮ふ

（以上福島縣知事　君島淸造）

を附議、青沼市長より『五日迄に答申すべく既に日時が切迫して居る』と說明、萩原議員は『議長指名を以つて十三名の特別委員に附託し適當に審議すべきである』と動議を提出、滿場贊成、野崎議長より

矢吹組作　酒井淸　吉田寅之輔　永山勇吉　吉村安治郎　鈴木庸左右　金古政通　鈴木彌太郎　川崎文治　松本德一　關內正一　野崎　運沼正副議長

を指名、同委員會を午後から開會すべく決定、直ちに既報昭和十四年度の豫算總額四十四萬三千六百十二圓を上提、青沼市長より詳細な說明あつて豫算關係の議案を一括上提、伊藤助役說明に當り午後十二時半一先づ散會議案調査の爲め三、四の兩日を休會、五日午前十時から再會質問戰に入る事となつた

參事會員に
山野邊氏當選

平市參事會員馬目雅治氏逝去に伴ふ欠員の補充は本日の市會で選擧を省略野崎議長の指名で山野邊茂政氏と決定、

運轉手
禁錮三ヶ月

田人村自動車運轉手白鳥宏孝（二六）に係る業務上過失傷害致死事件の公判は一日平區に開廷、淺野判事から禁錮三ヶ月但し執行猶豫二年間の判決を言渡された

同人は去る二十六日同村の栫田リツ子さん（一九）外三名をトラックのステップに乘せ疾走中振落し重傷を與へ死亡せしめたものである

平驛長の夫人が
氣の毒な一家に
差し伸べた救護の手
附近の人々が感激

平驛長立枝信勝氏夫人トミ子さん（五〇）は近所の白銀町伊藤ハツ子さん（二六）が盲目の上病母と六才の幼兒を抱え生活苦に惱んでゐるのに同情數回に亙り金品を贈りなにくれとなく救護の手をのべてゐたことゝこの程判明附近の人々に感激されてゐる

ハツ子さんは三才の時父を失ひ七才の時盲目となり大正十二年知人を賴つて來平磐城訓盲院に入學、昭和八年卒業前記場所に開業したものだがこの喜びも束の間母が病魔におかされたばかりか賴りにしてゐた夫には死にわかれ全く文字通りの生活苦に惱んでゐたゞけにいたく感激してゐるといふ

俵編み優勝
中に紅一点

既報＝石城穀物共同受驗組合主催の俵裝改善並に俵裝の自給改善をはかる俵編み競技會は一日午前十時から神谷農試分場に開かれ各市町村代表百餘名の選手はいづれも榮冠を目ざし覇を爭つたが入賞者左の如く、尙三等に入賞した飯野村の山田ノブ子さんは唯一人の女子出場者である

△一等草野吉田嘉善　勿來町下山田辰藏　渡邊村岡部政重△二等夏井村箱崎正男　神谷村勝倉林次郎　同渡邊源太郎　平市戶田福三　△三等飯野草野登　草野相川泰良　同渡邊忠藏　大浦片寄嘉助　同萬崎嘉一　飯野山田ノブ

小名濱支局通信

御幣擔ぎの陋を難ず

支局長　小野務平

正月は睦月と稱して總ての欲を制し最も無事靜穩に暮すと云ふのが正月たり睦月たるの名のある所謂で此慣行が永い年月を經今日尙尊守して居ると云ふのが現在である、然し此慣行は世相の比較的閑散なる時代にこそ正月氣分に浸つて徐ろに一年の計を樹立するのも決して不可とする筈のものではないが、各階級を通じて多事多端一刻を爭ふ今日に於ては千遍一律に之を尊守して居なければならぬと云ふ悠長な世相では決してない、玆に改革の叫びの起る導火線が認めねばならぬ

小名濱町當局が眼を玆に致して正月行事を根本的に革新し從來十五日に割り當てた一切の行事を七日決行し八日の朝正月氣分を方付け一途業務を平日通り丹精しようとする一大革新を斷行するに至つた事は陋弊を一掃して時代的處置に凱歌を奏したと見るべきである

所が此行事斷行に向つて然かも智識階級に數ふべき一部では正月の荒髙い神事に對して其迷信仰を顚覆したもので神罰の來たるや必せり恐るべく怖る可きであると云ふ怪說を稱へ出した者がある、其愚昧にして固陋、新取的心操に乏しき誠に慨歎に堪へない、之等の說を以て得々たる連中に對しては左の一例を以て其暗愚を飽まで笑殺してやりたいと思ふのである

即ち板子一枚に生命を托する漁業船乘り水夫にありては一口正月の神事を動かす事の出來ない神宣として今日に至つたのであるが、本年理解ある船主に依つて松飾りを撤廢すると同時に五日より出漁を初めた結果はどうであらうか云ふと何ぞ圖らむ出漁船は一から十まで何れも大漁で一艘當り平年は二百円、三百圓位が關の山であるのに本年は大漁八百圓より小漁と云ふても五百圓を下らないと云ふのが本年の漁獲であり殊に其漁獲する魚類はサガボーと來て居る

該魚類は平年に於ける賣行きは僅かに竹輪蒲鉾の材料で其皮は肥料だに成らずして多くは捨てられたものであるに對し肉は罐詰と化し、皮は牛皮代用として皮革として任務を果し得ると云ふ質に變つた方向に進展して一擧兩得い收入から意外なる金額として收入を增入して居ると云ふ逆な幸福を見るに至つた事は何を物語るものであらうか

徒らに御幣を擔ぎ廻つて陋習に捉へられ時代の進運を洞察し得ないでは當底この長期應戰に堪へ得る性質でないと云ふ自覺を少くとも智識階級に列する立場からも此點の理解を以て非常時局に對應する覺悟が先決問題と考ふる所以に此一文を參考に供した次第である

サガボウ鮫大漁
舊正月の小名濱活況

陰曆正月は漁場の休養月として種々な神事の多い行事になつて居るが時局柄本年は正月の松飾りを舊八日の朝撤收し漁業家亦五日より出漁する劃期的の革新振りを見せて居る目下水揚漁族は底曳漁船のサガボウ鮫で毎日四千円乃至五千円の漁獲高を示し近來にない大漁である殊に皮革統制から鮫皮は忽ち牛皮代用品として大歡迎を受け魚肉と共に賣行萬點であると

郡教育部會
學年末打合

本郡教育部會では十四年度に於ける小學校としての時局の對應並に校務處理方法更に職員移動に就ての打合せ等の協議會を三月四日午前十時より小名濱校講堂に開くと

早起會の主唱青年

植田町青年團の總會は來る十一日小學校講堂で開かれるがこの日仁井田部落の自轉車業芳賀三郎君（二七）が銃後靑年の師表として表彰されることになつた

芳賀君は今次事變に實兄兩角部隊治助一等兵並に石井部隊治上等兵叔父の佐藤部隊義一一等兵を第一線に送りながら自分が不幸從軍出來ぬのを遺憾とし仁井田部落に『早起き會』をつくり感謝されてゐるものである

獻金十八回

江名町商町山口屋女將志賀かつさん始め女中さん達七名は毎月冗費を節約して軍用機へ獻金をつゞけてゐるがこの程二月分として金六圓を献金した、これで十八回である

兒童成績展
第一校に開催

平第一校の兒童成績品展覽會は來る四、五の兩日開催されるが出陳種目は書方、圖畫、手工其他で盛會を豫想される

研究教授
小名濱校に

石城郡教育部會主催に係る研究教授發表批判會は三月三日午前十時より小名濱校に於て開き全郡小學校より何れも四、五名の訓導出席する筈

運動具統制

縣下の運動具店ではこの程打つて一丸となり商業組合を結成二十八日福島市商工會議所で創立總會を開いたが平市の大塚鳳三郎氏は理事に、堀喜一氏は營業統制委員に各就任した

卒業の判定

平商の五年生は本二日卒業試驗が終つた成績の判定會は來る六日行はれる

四倉豫算
前年より減

既報四倉町の豫算町會はこの程開かれ左の如く決定された

△歲入稅外收入三六、六一九圓　稅收入四三八九九圓△歲出經常部六六、〇八三圓　臨時部一四、四三五圓　計八萬五百十八圓で十三年度豫算に比べ三萬五千三百九十一圓の減又町稅賦課額の一戶當り平均は二十二圓六錢餘である

酒勢に任せ
毆つて罰金

内郷村大字白水字濱井場赤木合宿所採炭夫東峰俊雄（二五）は去る二十五日午後九時半頃附近道路で酒氣に任せ偶々出會つた鈴木悅太郎氏に就き當つた上拳で顏面其他を毆打全治十日間の傷害を與へたこと發覺今二日平區から略式罰金三十圓に處された

小名濱の青年總會

縣下第二區小名濱方部の青年團總會は十一日午前十一時から小名濱町磐城座で開かれる

脅迫坑夫
收容さる

内郷村大字宮字竹之内炭礦坑夫前科一犯中澤政喜（四二）は今二日平檢事局で脅迫罪により富澤檢事の取調べを受けたが直ちに起訴收容された

同人は去る二十六日午後十一時頃飲酒泥醉の上同村字平太郎炭礦坑夫川島治郎平氏宅の雨戶を叩き皆殺しにするぞと脅迫したものである

鐵工の製作技術
指導者の講習會開く

平地方に於ける鐵工の製作技術指導者講習會は來る十七、八の兩日平市公會堂で縣主催の下に開かれる

花嫁さん五十一名
櫻丘學園卒業式

花嫁學校の稱ある磐女櫻丘學園第一回卒業式は來る十八日擧行されるが卒業生は五十一名であると

連結機で頭を破る

平市番匠町平驛連結手渡邊幸一君（二二）は一日朝七時頃停車中の車輛を連結中連結機の尖端に頭を打ちつけ頭蓋骨を折り高久病院に入院したが生命危篤

姉達を送る
別離の傷心

〃螢の光窓の雪〃と別離の歌が胸に沁みて傷心を誘ふ三月が訪れた——磐城高等女學校では卒業生の爲め來る十七日午前九時から盛んな送別會を催して別れを惜しむことになつた

銃後强化の具体的協議
十一日平市に

縣では來る十一日平市役所で銃後强化協議會を開き軍人援護事業貯蓄奬勵の講座並に物資動員に因る失業者の生產援護を中心に具体的研究を行ふことになつたが出席者は市町村吏員並に銃後團体代表者である尙地方では十二日植田町役場で同協議會が開かれる

梨子立毛
入賞決定

既報＝過般開催された好間、赤井、小川三ヶ村聯合の梨子立毛品評會入賞授與式は來る五日好間小學校講堂で擧行されるが入賞者は左の如くである

△一等上小川鈴木保次　赤井平澤庄重　好間金成辰吉　△二等上小川鈴木宏一　赤井高萩勇雄　同黑木平治　同須藤金治　好間金成菊太郎　同布施福二　△三等上小川鈴木淸次外十七名△四等赤井高野好吉外三十六名

尙終つて小名濱測候所小磯所長の氣象に關する講演がある

裸祭の奇習（一）
内郷村御厩の獅子舞

山口彌一郎

和田文夫

◇

磐城平市の隣村、炭礦村として名ある内郷村の一隅御厩に往古から行はれてゐる獅子舞の一種の裸祭がある、この奇異な祭が城下町の近くにありながら未だ舊記にも見えず世に出ずにゐたのは不思議でもある。去る十三年十一月五日喜田貞吉博士の御來平を乞うて御教導を願つた磐城民俗研究會は翌六日の未明に行れた此の祭を一同で調査する機を得た、これに類する祭は隣國常陸國南村新田にもある。喜田博士は身体が御不自由で御案內出來ず殘念であつたが、種々御敎示を賜り又同行の高木多田、岩崎等の會員諸兄の御助力を受け報告する次第である。こゝに謝意を捧げる

◇

若者組、祭を司るのは若者即ち靑年團員である每年小學校を終へて村にある者は春秋の總會に酒一升を持參して入團する退團は滿三〇歲、靑年會と言つた時代は三五歲であつた。現在では婿は入團せずに終る者が多い

宵祭、祭禮の前日即ち陰曆九月十四日の正午より若者達は兜神社へ集り兜、愛宕、磐城稻荷三社の境内、參道の掃除、旗立て等をし一旦歸宅夕食後再び集る。其の晩はお籠りであるが、現在は或る時間迄は外出も許されてゐる、たゞ肉食、淫行は嚴禁され、破ればたちどころに神罰は被ると言ふ。嘗て其の禁を破つた者があつた、其の者は他の者が何度も跳の儀歩いた處を歩いたに拘らず大變足を切り二週間も入院したさうである

褌一つの全裸体へ腰に注連を卷くのが祭中の若者の姿であるが、其の注連は團員中で新嫁の出來た者が持參し、御籠り中各自がつくる。御籠り中の若者へは、村内は勿論遠くは北海道邊迄の此の地に緣故ある人より御神酒が贈られる。其の酒を飲みながら雜談に花を咲かせての御參籠は蓋し若者の樂みであらう

潔齋、愈々十五日になると、未だ明けやらぬ午前四時頃一同素裸になり社の脇の小川へ喚聲と共に飛び込んで水垢離をとり、新しい木綿の裸に注連を卷き仕度を整へる。再び境内に戻り、中央に篝火をたき円陣をつくり暫く暖をとる。そして分團長の指揮により社前に整例默禱を捧げる

平市人事

◎出生

△御町一一大庭常七氏次男政志君
△鍛冶町三〇日下湯本町字上川根本隆愛氏三男敏愛君

◎婚姻

△好間村大字愛谷字花輪四四小野幾彌氏（二八）久保町二二沼田ムメさん（二二）

晩の部

▼後六、〇〇　子供の時間　お話と音樂「ハルガキタ」オハナシクラブ
▼後八、〇〇　放送歌劇「魔彈の射手」フリードリッヒキント原作、カールマリアフオンウエーバー曲、獨唱子、横田孝外、合唱JOBK唱歌隊、管絃樂大阪放送交響樂團、指揮宮原貞次
▼後八、四〇　歌澤　一、春は唄ふ　二、白酒、唄歌澤寅右衛門、三味線歌澤寅小蒲
▼後九、〇〇　敍事詩物語「出廬」幸田露伴作

明日の部

▼前一〇、二〇　婦人の時間「眼の疲れぬ讀書法」醫學博士進藤眞砂
▼前一一、〇〇　小學生の時間（尋三）お話「世界一の潜水艦」倉町秋次
▼後〇、〇五　モダン小唄
▼後二、〇〇　小學生の時間（高等科）お話「新世に出る若き方々に」田澤義鋪
▼後三、〇〇　母の時間「子供のことば」
▼後六、〇〇　子供の時間　お琴と長唄　山下可鶴子外
▼後六、二五　農村共同作業講座「我が支農會における共同作業の實際」
▼後八、〇〇　童謠　竹內貞子　伴奏大阪ラヂオオーケストラ
▼後八、一〇　能囃子「融」「三段舞返し」島田巳久、馬幸悟朗外
▼後八、二〇　箏曲「三つの景色」豊島佐喜文
▼後八、四〇　管絃樂　日本放送交響樂團　指揮ヨーゼフ・ローゼンシュトック

學生帽子

近づきました。

御子樣のウレシイ。樂シイ。

新入學期

ランドセル

手提鞄

色々陳列して御座います。

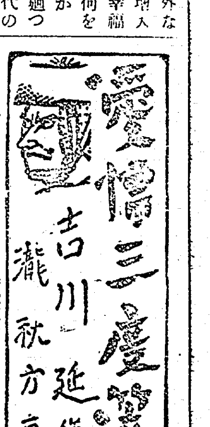
ツルヤ　電一四〇

齒科一般

小名濱小學校前

齒學得業士

村上豐



愛憎三度笠
吉川延作
瀧秋方画

…（一〇三）…

怪ッ體三

「ほん」に、[illegible]すものは御[illegible]なものでございます、[illegible]れて[illegible]ましたが、こゝで泊ふたの[illegible]よ、それまで見たことも[illegible]いたこともないお方ださうでございますわ」

女中も、その女のことが不思議でならないもいゝやうに、語り出した、一たんつた[illegible]には、別に[illegible]いこともないと[illegible]って[illegible]をおろして[illegible]をつかせた。

「[illegible]は、[illegible]な[illegible]い」

「[illegible]な、人形のやうな

[illegible]こ[illegible]！」

「ほう、人形のやうな娘が又、どうして一人で、こんな宿に泊つたのだね」

土方の探偵眼は益々烈しく光を增した。

「さア、それは、私も存じません」

「一度、その女に、逢つて見たい」

土方歲三、不思議な女の素性について、やゝ疑問を抱くと共に、好奇心も手傳つたのであらう。

「まア、旦那樣のやうな、お綺麗なお方を見やしたら、きつとホ、ホ、ヽ」

「きつと、何だ」

「存じません、まアそのお方にお話し申して見ませうか」

「あゝ賴む」

女中は立つた。

「よせばいゝに、あまりに醉興が過ぎるやうぢや」

[illegible]、あたかも自分一人

かに[illegible]な、娘[illegible]の[illegible]をする。

「俺に内心、その[illegible]いのぢやらう」

「[illegible]な、女よりは、これこのかな、とても俺には……」

と、盃をさゝげるやうに、目の上に持つて行つたのであつた。

「旦那樣、あきませんわ」

と、女中が笑ひながら入つて來た。

「さうれ見ろ、恥をかいたぢやないか」

「[illegible]が[illegible]ふ。

「[illegible]な、いやしくも、[illegible]

「旦[illegible]」と申すのに、いやとは仰ちや」

と、宿帳では、すでに泊つてゐる。で、[illegible]

「俺が引ッ張つて來て、酌をさせる」

と、いひながら、荒々しく部屋を出た、その隙に女中は、女のことを話した[illegible]ながら後に續いた。

「部屋は何處だ！」

と、土方がきく、女中は、あとから

「旦那樣、旦那樣はお聞きやして！」

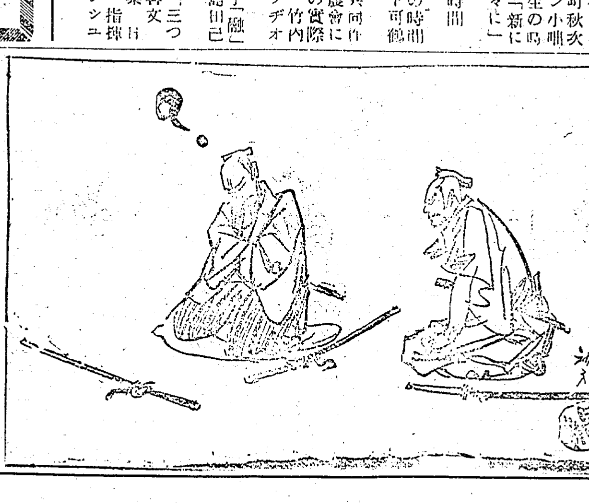
「いや、旦那樣はせぬ、俺は役目ぢや」

「あの、どうか御辭しを」

女中は、あたかも自分の部屋のやうに感じたらしい、ハラハラしてゐる。

「何でもない、こゝか」

と、獨合點で、ガラリとひらいた障子と同時に、ギラリ太刀がひらめく、醉つてはゐても[illegible]隣の襖際に[illegible]した土方である。



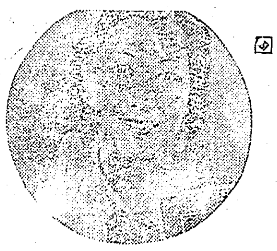
御存じ？

■サンドウイッチの包み方　學校のお辨當に、ピクニックなどに、サンドウイッチを持つてゆくとき、キャベツでも、サラダ菜でも、パセリでもすこし入れてつゝむと、いつまでおいてもパンがさく〜になりません。折詰も同様

恥しい、私の顔はなぜ赤いのか？

だが御安心なさい原因が判れば癒すのはわけない

醫學博士　中村敏郎氏



「おはづかしい事ですが寒くなると毎年鼻がしらがあかくなつて」か「顔一面が紫がゝつて赤く白粉でごまし切れぬのみか時でみにくゝなり……」かいふ赤鼻や赤顔に苦しむ御婦人の悩みに接する事が此のごろ頻に多いやうです。なぜ冬になると自然にまで顔や鼻があかくなつて少なからぬ婦人を困惑させるのでせうか

(一)冬に多い便秘　原因の一つに冬に特に多い便秘があり、しようちう便秘してゐるやうな婦人は、のぼせてきて顔があかくなる道理でせう。斯様な人は、毎朝食鹽水を一杯飲むか、繊維に富んだ野菜いや果實をとるなどして便通をつけるやうにすれば悩みは自然に解消されるにちがひありません

(二)血管神經の鈍さ　原因の二つは顔全體にゆきわたつてゐる毛細血管の神經の働きのにぶさにあります。この神經には血管を閉ぢるものと開くものとの二つがありますが、一體寒さにあふと普通血管は一たん收縮して後ひらくものですが、この血管を閉ぢたり開いたりする神經の働きがにぶい人では血管は開きつ放しになつて血流は滞りがちとなり、したがつて顔面はいつもくすんで紫がかつて赤くもなつてくるわけです

(三)皮膚神經症　原因の三に皮膚神經症と呼ばれるものがあり、これは寒さとは無關係ですが年ごろの少女や世なれぬ婦人に多く、何んでもない事がはづかしくて眞つかになるといふあれで、これは顔とほ反對にちよつとの事にも神經が過敏に働くために治療は同様に[illegible]よる他なく、しかし長ずるにしたがひいはゆる世間ずれしてくると治つてしまふものです

原因の四に內分泌機能の不全があります。これも冬に特に多いといふのではありませんがこれこそ婦人のあから顔やあか鼻の原因の主たるもので、先づ鼻がうつすらあかくなりこの部分の毛細血管が擴張し、さらにニキビ様のものがそのあかい部分にかゆみもなく消えもせず同じ状態で長く存在するやうになり、次第にこれが顔全體におよんでゆきます。この內分泌腺の働きの不充分に因るあか鼻やあか顔は內分泌ホルモンの長期間の注射や、また電氣分解術により擴張した血管をこわすことによつて立派に目的が遂せられます

(五)赤血球增多症　も一つあか顔の原因にヒフ赤血球增多症といふのがあり、これは血球が非常に多いためにおこるものです。また時に黴毒によるものもあります。この場合採血や脾臟のレントゲン照射などが試みられます

新女性べからず集

●お作法の巻●

斷髪を誇るべからず

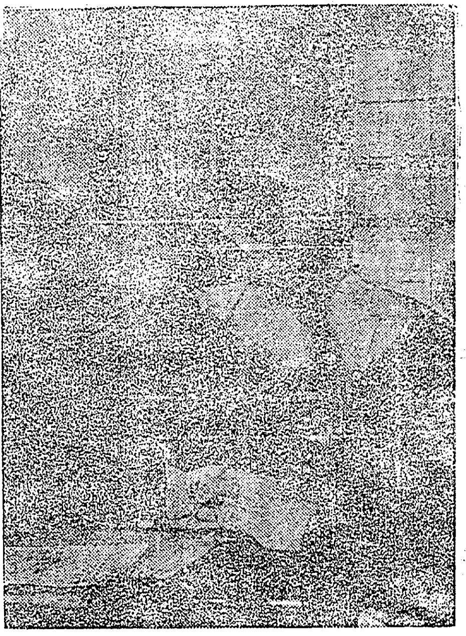
ボブであらうと　ハーフ・ボブであらうと、それはあなたの御隨意としても、髪にフケとホコリをためるのは、あなたのホコリにあらず。

と云つて、五錢のシャムプーで、ゴシ〜洗つて、凉しい顔をするテはないです。三日に一度は、オー・ド・ココンのフリクションをやンなさい。

何です？五圓のオード・コロンが五回でカラになつた？泣くでニヤーです。ボブはもつとも高價な、もつとも手間のかかる髪形だから仕方がない。

腰は温めても案外肩先はおろそか

職業婦人に辛い寒さが來ます



職業婦人に冬と夏とどちらがつらいか——と云ふ事は兎も角、事實彼女等のからだに惡い影響をあたへるのは冬の寒さの方なのです、從つて彼女等には何とかして、その寒さをふせぐ保溫工作を施す事が必要なのですが——その工作方法を研究する前に、まづどこに一番こたへるか？といふ事をお話しませう

お寒い時は誰でもよく御不淨へ行きますが、殊に婦人は近くなります、それはボウコウが冷えるとおこる事で、そんな場合にはお腹の所へカイロを入れるとか、一時的には熱い番茶を二、三杯飲むとかして早く身體をあたゝめる事です、放つておくと遂にはぼうこうカタルを起して痛んだり、高熱をだしたり、醫者にかゝつて特別な治療をしなければならなくなります、次に月經中立ち通したり、細かい神經をつかふ仕事をする事のよくない事は云ふまでもありません、月經不順、月經困難、ひいてはその他の婦人病にしても

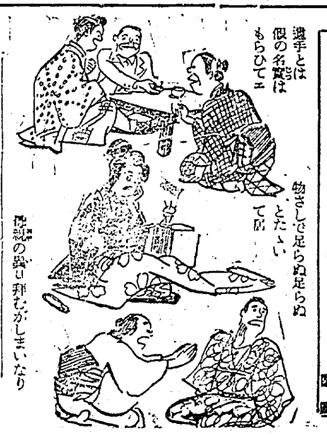
最初の原因はこゝにあるのですが、といつて休むわけにもゆかないでせうから出來るだけ腰を冷やさない様に、たとへばズロースなどもなるべく長めのものを用ひる事です、大たい部（ものところ）をあたゝめないと腰もあたゝまりません、反對に腰と大たい部があたゝまつてゐると膝も自然あたゝかいものです、次に腰頭と共にいつもつめたいと云はれるのは肩先でせう。腕の方は別に重ね着する必要はありませんが、襦袢やシャツに長い袖のものはないまでも、肩先だけはつゝまるやうな、ほんのちよつとでも短い袖のついたものを用ひると非常にあたゝかく感じます大體肩から首元にかけては筋肉が多くて血液が循環しにくい處です、よく

肩がこるといふのもそのためで、もんだり、たゝいたりして直るといふのも、それで溫度が上るからなのです、以上申上げたやうな點からなつたものか婦人洋服の下着のコンビネーションに時々見受けますが、身體にぴつたりと合つてついてゐるものは溫かくてもおもしろいといふものを着る感じません

洋服の方は勿論ですが、和服の下にも、どうかさうしたものをお用ひて、身體をこはさないやうあたゝかく冬をすごしていたゞきたいものです

川柳漫畫

句　食滿南北
繪　前川千帆



選手とは假の名實はもらひてェ

物さしで足らぬ足らぬとたゝいて居

神殿の賽錢拜むがしまいなり

お手數でも計量に御注意を

食料品を買ふ場合、その計量に注意することは家庭經濟から見て必要な事です、附錢出來るものなら必ず目方で買ふ事、たとへば百匁二十五錢の雞卵二百匁では約十二個ありますが、同じ大きなもの一個あたりで買ふと近錢につきます。そこで忽ち二個の差が出て來るといふもの、都會ではお米はほとんどキロで買ひますが農村、漁村ではまだ升目で賣買されてゐます、お米はその質によつて大變目方に差がありますから是非目方にしたいものです、つぎに包裝のものは目方が表記されてゐるものを選ぶことです、これは多人數の家庭では特に大切な事で、これだけの容量があれば大丈夫だらうと思つてうつかり容器の外觀を信用して買ふと二重底だつたりして不足を來たします、目方が表記されてあれば瞬間で割つていくつ買へばいゝといふ事がすぐ判ります、次に遠慮されるものは必ず選擇する習慣をつける事です、ふだん撒[illegible]しないでゐてそのうちに「此のごろ少し[illegible]減つたやうだ」ともつてお[illegible]するのは[illegible]してゐるといはひ、[illegible]な[illegible]ひ[illegible]へ[illegible]なければならなくなります、[illegible]には買入れの[illegible]

腹が立つた時の奥様の心得

まことに恐れいつたことです。淑女に向つて、無禮な云ひ條ではあるが、世の中には「萬一」といふこともあります。萬一に一度でも、腹を立てる場合があつたら、これを御覧ください。まんざら御損のゆくことばかりもあるまいと存じます●

腹をたてる代りに相手を憐んでやるべし

電信柱にぶつかつて、いやといふほどおデコをぶつても、それで腹をたてるものはあらざるべし。災難とはおもつても「この電信柱めが」と、なぐりかゝつてゆく馬鹿者はないはず。

人からかけられたとおもへば一しづくの手水にでも腹が立たうが、空から降つた雨ならびしよぬれになつても、おこる氣にはなれまい。何んと惡口いはれようとも、いかに無禮をされようとも、氣の持ち方では腹はたゝぬ。

常識はづれの人とおもへば、狂氣者のものとおもへば、あはれには思へても、腹をたてる氣にはなれぬ。ムキになつておこるのも、相手をこちらと同じ人間と思へばこそだ。

人をおこらせるやうな相手を、本氣になつてあしらふなかれ。そんなものを相手に立腹しては歩がわるい●

硬ばつた革手袋の若返り法

柔く艶をだすにはヒマシ油が一等

もう革手袋を用ふるころになりました。今までしまひこんでおいた革の手袋をとりだして見るとカビ

◇……これは困つたことにこはばつてこ[illegible]のですが次にヒマシ油で效果のある更生法を御紹介いたします

または純粹の椿油があればそれを代用してもよい、これを眞綿、脱脂綿にしめし、堅く搾つてからそれで手袋をふきますとカビがのぞかれて且つやはらかになりますから、後はしばらくかげ干しにするだけでよいのです

◇…もしこのみによつてすぐにも艶をだしたい様な場合にはヒマシ[illegible]のでふいてからヒマシ油をつかひますと幾分かの水分のためにあぶらがカワにしみすぎる事がないので艶がうしなはれません

◇…またこの手當と同時に、カビの豫防法も講じておきたいならヒマシ油を求めるついでに藥局でサルチル酸を二〇倍位のうすめた液を少しつくつてもらつてカワにヒマシ油をぬる前にこれでふくか、また第二の[illegible]

祖國

堀　健吉作
畠野奈三畫

曙夫人　八〇　(四)

「曙さん、この方がジャン・コクトオさん、やはりフランスの方……」

そして彼のアミそれからこちらが曙さん……日本一の美しい方……

そして彼のお寶——

と、フランス風のエスプリでしやれた紹介をした。

曙夫人は寶石にかゞやく白い手をしなやかに青年の前にさし出した。

「何卒、おかけくださいまし」

曙夫人は、美しい發音のフランス語で、から青年に云つた。

青年は女王の命令に服する奴隷のやうにかしこまつた態度で椅子の上にちひさくなつて腰をおろした。

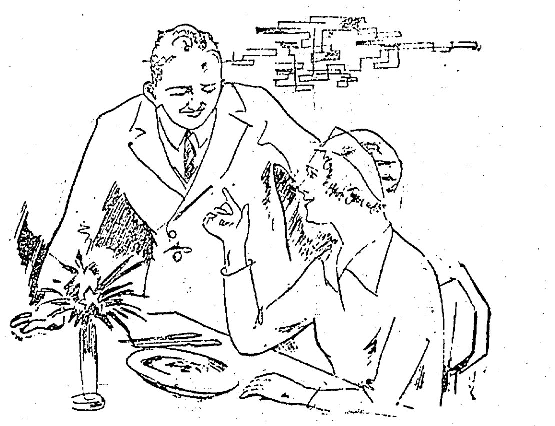
その愈にしよげかへつた様子があはれに見えたので、曙夫人はこの場の空氣を和やかにするためにとつたから、カミーウもそれを殆ど假してゐたのである。といふのはつまり、自分の愛人から逃げて來たんだといふことだつた。◎

その愛人は師範校で十六の時、親たちが承諾し合つての許嫁だつたが、一と度約束してしまへばさう容易に破約出來るものでもなかつた。

彼は日ましにやせほうけ、結核の徴のはきだす嫌惡によつて、神經質の彼が、狂人じみてゆくのにすつかり愛がさめてしまつたのだつた。

そして、旅に名を借りて日本へと渡つて來た、彼はその許婚の女に執拗に監視されてこまり切つてゐると云ふことだつた。

また、近頃カミーウ夫人につたへたところによれば、その許婚は嫌惡な男をしたへるために、やつれはてた、臨終のマスクをとらせ



て、それに、熱情の總和をこめて——

と、ふるえる手に接吻のこした香水と共にはるばるフランスから、小包をおくつて來たといふ話だ。

しかし、それはマスクだけではないから、その[illegible]はにもわからなかつたが、その男の、神々しい姿の[illegible]のやうに[illegible]するかと思へば、或るときは一パイのコーヒー代にも困ると云つた樣子も見えたので、どこかやりつばなしの仕方のない男らつ者の[illegible]にも思はれたし、

また、或る大使館付の外國武官たちの間では

「彼はスパイかも知れんぞ——」

と、うわさしてゐる向もあつた。

「マダム曙、お住居はどちらですか」

と、青年はつひさつき紹介されたばかりの夫人に向つて、もうなれ〜しく纏綿な問を發した。

のおもひつきで、ボーイを呼びビールを命じた。

「夫人方にはベルモット」

と、青年はボーイに注意した。

「乾杯！　乾杯！」

と曙夫人は歸返したが、青年はその言葉を聞きながして、

「お會ひになつていたゞいたうれしい記念のために——」

と云つて、青年はうれしさうに顔をかゞやかせた。

ジャン・コクトオと呼ばれたフランス青年のこの紹介が、みづからを紹介する所によれば、彼は有名なボノフランスボルドーの生れで、[illegible]の出だといふことだつた。

顔つかひもあらく、よくにぎやかな場所に、出入するのが見られた。

コクトオが日本に來てゐるは、表面上旅行のためだといふ事だつたが、しかしながら、カミーウに告げたところに依れば次の通りである。

それは一寸ことしやかな告白である。

△金？金！
高價にて買入れます。
平市二丁目
ネモト時計店
電話六〇七番

市內某醫院
◎至急……有資格經驗ある
看護婦を募集す
月給十圓—二十圓給與す
姓名在社

フケで頭の痒ゆい方に……
三共のサボイド石鹼の御使用をおすゝめ致します。
本石鹼は最上の原料により製せられた硫黄コロイド石鹼ですから、其他あらゆる皮膚病の方が用ひてよろしく、又、皮膚病豫防の目的にて常用されれば美容と衛生の上から非常に喜ばしい効果をもたらします。
1ケ20セン
三共株式會社代理店
西村屋藥局
平市本町二丁目　電話三番

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
玉屋　平市本町二丁目

おそば!!!電話4番
やぶそばへ!!
天ぷらそば
おかめそば
玉子とじ
鴨南ばん
出前迅速
其の他各種御座います。何卒御試食の程御願申ます。

銃後の皆様喜んで御使用になる
糸イラズ
綿布、綿糸、毛織の折衲古き破れた足袋、靴下、メリヤス、ジャケツ其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひいては國家の經濟は莫大のものとなりませう
男子の方や御子様方でも容易に修繕が出來ます
糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい
定價20錢
30錢
平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

鐵屑買入價格並ニ販賣價格
日本鐵屑統制株式會社へ納入値段

區分／種類	電氣爐用	平爐用
壹級品	千瓩ニ付 一〇〇圓	千瓩ニ付 九七圓
貳級品	九七圓	九四圓
參級品	九三圓	九〇圓
級外品	八〇圓	八〇圓
並ダライ粉	八〇圓	八〇円
銑ダライ粉	八〇圓	八〇圓
ブリキ屑		六八円

上記ノ通リニ各品共販賣致シ居候間精々御利用下サレ度ク
尚當店ノ買入價格ハ何レモ千瓩ニ付金參圓宛ノ手數料ヲ差引キタル値段ニテ買入致ス可候間之又御利用下サレ度候

各鐵工業者ヘノ納入値段

區分／種類	賣値千瓩ニ付	買値千瓩ニ付
古銑鐵	一〇〇圓	九七、〇〇
古鋼材	一三〇圓以下	一二六、〇〇以下

註
1、當地附近ヨリ發生ノ鑄物屑ハ需要ニ満タザル現情ニ付キ鑄物屑販賣ニ關シテハ下鐵工組合ト連繋ノ上一般業者ノ從來ノ實績ニ依リ公平ニ販賣致度キ考ヘニ候ヘバ御諒承願度候
2、鐵屑類ハ日本鐵屑統制株式會社ノ指定先及ビ指定量以外ハ絶對販賣出來ザルモノニ付キ堅ク御斷リスルト共ニ是非必要ノ工場ハ統制會社へ配給方申請セラレ度候
3、古鐵材ハ一般鍛冶業者等ノ使用セラル、材料ニシテ配給ニ便利ナル組合モ見當ラズ候間御入用ノ分丈ケ宛千瓩一三〇圓以下ノ割合ヲ以テ販賣致ス可候

日本鐵屑統制株式會社
指定商
山田商店
平市十五丁目六番地
電話五五五番

吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

鈴木醫院
平市田町
電話五八番

三井タクシー
平二　電話六八五番

外科內臟外科
X光線科
院長　安齋徹
—新設—
產婦人科　醫學士　黑澤廣
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

電話五九二番に變りました。
食事 喫茶 酒場を かねた
レストラン
サロン
平市銀座街

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）

內科外科一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町　電話三五八番